

登録コード	SD802400	開講年度	2026					
授業題目	卒業研究				担当教員	山田 桂 他		
英文授業名	Senior Project				副担当			
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学年	4年
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	必修 ◇担当教員：地球学コース全教員
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】		
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ							
	【2023年度以降カリキュラム対象】理学の各分野における専門知識				⇔	・論理的な思考力を身につけ, それらを用いて研究課題に関して自ら考えて実行し, 発表や論文にまとめることができる.		
	【2023年度以降カリキュラム対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し, その成果を的確に他者に伝える力				⇔	・論理的な思考力を身につけ, それらを用いて研究課題に関して自ら考えて実行し, 発表や論文にまとめることができる.		
	【2023年度以降カリキュラム対象】理学の基礎知識と専門知識を活用して課題を発見し取り組み, その成果を社会に役立てる力				⇔	・論理的な思考力を身につけ, それらを用いて研究課題に関して自ら考えて実行し, 発表や論文にまとめることができる.		
(2)授業で学べる「テーマ」	防災減災							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	談話会の教員, とりわけ指導教員のマンツーマンの指導により研究をおこない, それを卒業研究にまとめる。年度途中において定まった具体的な研究テーマとその実行予定表を作成し, その提出が求められる。さらに全教員, 3・4年生が全員参加する卒業研究発表会において1年間の研究成果を12分間にまとめて発表する。							
(5)授業のキーワード	科学リテラシー, コミュニケーション能力, 問題発見・解決能力							
(6)授業計画	談話会ごとに日程が定められる。テーマ実行予定表の作成は秋, 発表会は2月初旬におこなう。最後に授業アンケートを行う。							
(7)成績評価の方法	提出された卒業論文と発表会の内容をもとに, 指導教員が作成した評価原案をもとにして, 全教員の議論により評価を決定する。							
(8)成績評価の基準	ねらいに対する達成度が90%以上はS, 80%以上はA, 70%以上はB, 60%以上はC, それ以下は不可とする。							
(9)事前事後学習の内容	各指導教員からの指示に従って学習すること。							
(10)履修上の注意	指導教員とよく相談しながら, 卒業研究を進めること。自分の能力を高めることが目的なので, 自主的に参加する姿勢をつらぬくこと。研究の「成果」よりも, いかにその能力が獲得されたかが評価される。							
(11)質問,相談への対応	指導教員と良く相談すること。なお, 指導教員のメールアドレスは, 以下のとおりである。 吉田<kxyosid@shinshu-u.ac.jp> 山田(桂)<katsurai@shinshu-u.ac.jp> 齋藤<saito@shinshu-u.ac.jp> 常盤<tokiwa@shinshu-u.ac.jp> 森<mori_hiroshi@shinshu-u.ac.jp> 江島<tejima@shinshu-u.ac.jp> 山田(昌)<yamada@shinshu-u.ac.jp> 鈴木 <akimasa.suzumura@shinshu-u.ac.jp >							
【教科書】	なし							
【参考書】	なし							